

1 「学びの変革」への背景

(1) 全世界的な社会の変容

① グローバル社会

(国や地域の境界を越えた地球規模の社会間の結びつきが強くなることに伴う社会)

国境なき交流と競争

② さまざまな世界的課題

環境 食糧・エネルギー 国際紛争 解決困難な課題

③ 日本における危機

少子高齢化 生産人口の減少 外国人労働人員の増加

④ 働くこと

不安定さ 年功序列の崩壊 終身雇用への不安

自分の生き方を模索し、切り開くために 形式(マニュアル)だけにとどまらず柔軟性が重要

2 新しい時代に必要な資質・能力(中教審への諮問 平成26年11月20日)

(1) 自立した人間として、他者と協働しながら生きていくための資質・能力

① 主体的に取り組もうとする意欲

② 多様性を尊重する態度

③ 他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク

④ コミュニケーション能力

⑤ 豊かな感性や優しさ

(2) 育成すべき資質能力を育むために

⇒ 課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び「アクティブラーニング」を重点化

3 変革のための核となる学び

【主体的な学び 協働的な学び】

(1) 主体的な学び

受動的 教師基点 知識・技能

能動的 生徒基点 深い学び(活用・探究)

(2) 主体的な学びを促す教育活動の一つとして

⇒ 「課題発見・解決学習」

(生徒が) 課題発見・(生徒が探究的に) 解決する学習

※ 目的は、主体的な学びの構築! 課題発見・解決学習はツール

4 授業の変化

【主体的な学び 協働的な学びへ】

(1) 導入

①最も重要なことは、

- ・主体的な学び（自ら学ぼうとする意欲づけ）へのつかみ
- ・導入や課題設定前の提示

②いかに、子どもの感動を引き出すか

- ・（感動 感情を動かす）ポイントは、比較 知りたい！

③比較

- ・（想像と違う 既習事項と違う 経験と違う・・・）なんで？どうして？うっそー？

(2) 学び合い 個の思考の深化・定着を図る

①目的

- ・何のために5分間学び合いをさせているのか
- ・盲点（コミュニケーション力を付ける？話をしていたらOKは×）
教科の目標を達成するための授業であることを忘れないこと。
他者の考えを取り入れ成長を自覚すること

②形態

- ・広げる（とにかく量を出す）
- ・まとめる（答えを出す）
- ・深める（個の思考の深化）
- ・共有する

③教師の役割

- ・全体を見る（見える位置に立つ ななめ前等）状態により再度課題を示す
- ・目的に沿って活動している場面を肯定評価する
- ・ついていけない子を把握する
⇒ グループに指導助言する
注意！ついていけない子に直接教えない事（グループにした意味がない）

④成立させるための条件

- ・子どもの活動が保障されている事（時間 場所 人間関係（学習集団づくり））
- ・司会 記録ができる（誰でもできる状態にしておく 小学校段階で）

⑤グループ活用に潜む危険

グループ活用の際にもっとも注意しなければならないこと ⇒ 確実に学力が下がる

- ・ 答えの教え合いに終わってしまう。
- ・ 一人任せの状態になってしまう。
- ・ 個に書かせる活動（指示・指導）がない

(3) 書かせる事 書く指導を重視すること

- ①必ず、個の考え、他の考え、新たな個の考えを書かせる。 習慣づける。
- ②書かせることで、思考の整理と深化が図れる！
- ③中でも最も重要な場面は、新たな個の考えを記述させることである（新たな学びとなる）
- ④個人思考の場面でも、思考のプロセス（数学でいえば立式）を必ず書く癖をつけておくこと。
- ⑤思考のプロセスを書く習慣がある子は、自分で課題を整理し、解決できるようになる。

5 授業づくりの検証

(1) 指導案検討

- ①子どものプロセス思考の深化が図れるか。（答えを導くまでの思考過程の変化や深化）
- ②学び合いの目的と形態が教科の目標に合っているか。（話し合いをさせることが有効なのか）
- ③目標の設定は適切か（教科の学習目標を忘れてはならない）
活動目標・・・を考えよう、作ろう 学習目標・・・を理解する、が分かる）
- ④子どもの姿を想定しながら検討する。（目標が達成された状態の子どもの姿とは？）

(2) 授業観察と協議

①導入（課題設定）

- ・ 学習目標への意欲づけ つかみ

②学び合い

- ・ 目的（学習の目標 スタイル等）の明確さ
- ・ 教師の役割（思考の深化を図る工夫）なげかけ、ゆさぶり、つぶやき
- ・ 協働的な態度、かかわり
- ・ 思考を深化させるための記述や綴り

⇒ 全教科共通の取組を設定し、焦点を絞る（できる項目から）

6 その他

(1) 主体的 協働的な学びの 1つのバロメーター？

教師の説明時間 < 子どもの説明時間・思考時間

(2) 今後3年間の構想(シラバス作成と施行)

①総合的な学習の時間カリキュラム

- ・ 1年目 1年施行・完成 2年計画
- ・ 2年目 2年施行・完成 3年計画
- ・ 3年目 3年施行・完成

②各教科

- ・ 1年目 数学施行・完成 他教科施行・改善計画
- ・ 2年目 全教科施行・修正
- ・ 3年目 全教科施行・完成

③宮中授業スタイル

- ・ 1年目 研究・施行
- ・ 2年目 施行・改善
- ・ 3年目 施行・完成